

## 学校評議員会の実施報告書

---

学校名 岐阜県立飛驒特別支援学校 高山日赤分校  
学校長 安藤 邦寿  
所在地 高山市天満町 3-41-1 電話 0577-34-3637

---

- 1 会議の名称 平成30年度 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成 委 員 谷倉 祐二 飛驒子ども相談センター 家庭支援課長  
三木 涼子 高山赤十字病院小児科 看護師長  
三川 賢悟 高山市福祉サービス公社 支援課長  
森本 雅彦 高山日赤分校卒業生保護者  
塩谷 雅 花里校下まちづくり協議会 会長  
(敬称略)
- 学校職員 安藤 邦寿 校長  
北村 浩好 事務部長  
駒田 美奈 教頭 (兼高等部主事)  
中井 隆 小・中学部主事
- 3 会議の目的 開かれた活力ある学校づくりを目的として、地域住民や有識者等から学校運営に関して幅広く意見を聞くために学校評議員を置き、会を開催する。
- 4 会議の開催 日 時 平成30年11月13日 (火) 10:30~12:00  
場 所 飛驒特別支援学校高山日赤分校 相談室  
出席者 学校評議員5名と学校職員4名
- 5 会議の概要
- (1) 日程説明 (教頭)
- (2) 校内参観
- (3) 校長挨拶

評議員の方々の任期はまだ少しあるが、今回が今年度は最後の会となる。本日は、学校評価アンケートの結果などについても、新しい視点からのアドバイスをいただきたい。よろしくお願いします。

(4) 第1回評議員会以降の学校の取組の紹介（教頭）

(5) 学校評価について（教頭）

ア 保護者、学校評議員対象のアンケート結果

イ 中学部、高等部生徒対象のアンケート結果

(6) 当校の教育活動に関する御感想及び御意見等

意見1： 分校は少人数であるため直接的な支援や丁寧な対応がしやすい。アンケート結果についても、個別の意見が反映されているのではないかと。私の機関でもそうであるが、アンケート結果を生徒や保護者にどう還元していくかが課題となる。

意見2： 学習発表会や校下芸能発表会参加の様子を見せてもらった。日頃の成果が表れていた。

地域社会としてできるだけ支援はしたいと考えている。しかしどんな支援をすればよいか分からず、踏み込めないでいる。いろいろな方の意見を聞いていきたい。

在学中は個別に丁寧な対応をしてもらえるが、卒業後の将来に保護者は不安があるのではないかと。

意見3： 私の子どもが在籍しているときは、卒業後の見通しに不安があったが、今日のキャリアアップウィークの様子を参観させてもらい、一人一人のニーズに対応した支援がなされており、以前とは違うと感じた。

意見4： キャリアアップウィークの取組を参観したが、よい印象を受けた。

アンケート結果からは、本人、家族、関係機関との考えに違いがあり、いかに本人の思いを尊重するかが課題である。アンケートで、本音を聞き出すことは難しい。保護者とのコミュニケーションをとっていくことが大切である。

学 校： 保護者の本当のニーズをしっかりとひろいあげたい。

意見5： 個々の力を伸ばす取組やできなかったことができるようになるための教師の働きかけがよい。子どもの様子をよく観察していて、保護者や関係機関と連携している。

学 校： 今後も御支援、御助言をお願いしたい。

学 校： 保護者に我々の活動を理解してもらうには、実際に会って話すことが効果的である。しかし、放課後等ディサービスなどの充実とともに話す機会が少なくなってきた。これをどう補っていくか考えなければならない。具体的には、連絡帳、通信、ホームページの活用などもある。

学校単独ではできないことが多い。関係機関との連携が必要であり、本人の意思を大切にしたい。

#### (7) 連絡

- ア 今後の学校行事等の紹介
- イ 学校評価等の依頼

#### (8) 校長挨拶

お忙しいところ本会に参加していただきとても感謝している。新鮮な御意見、御助言を拝聴するよい機会となった。今後ともよろしく願いいたします。